森づくり最前線

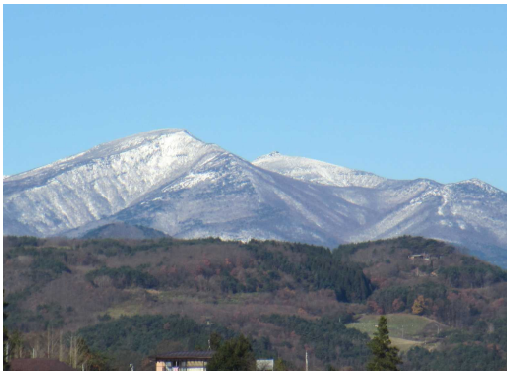
福島森林管理署　郡山森林事務所　地域統括森林官　茂垣　圭三

郡山森林事務所は、福島県の中央部に位置している郡山市の東部の一部を除いた８，９６３㌶の国有林を管理しています。

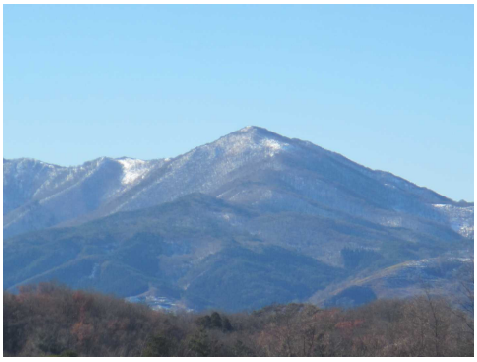
当部内は、海抜２４５㍍の安積平野または郡山盆地と呼ばれる平坦地を中心に、西高東低地形で西部は日本海側である猪苗代湖南に接し、東部は阿武隈高地、北は安達太良山頂に達しています。

郡山市の森林面積３９，８３４㌶（総面積の５３％）のうち国有林が９，８８９ha（小野町森林事務所管轄分９２６㌶を含む）で約２５％を占めています。山系は、安達太良山・額取山（ひたいとりやま）（別名安（あ）積（さか）山（やま））が南北に走り多くの登山者が訪れています。

安積平野



和尚山と安達太良山



額取山

市街地は、栃木県宇都宮市と宮城県仙台市の中間に位置しており、東北新幹線・ＪＲ東北本線・東北自動車道・国道４号で繋がれています。

また、西（日本海側）の会津若松市や新潟市と、東（太平洋側）のいわき市へは、磐越自動車道やＪＲ磐越西線・磐越東線および国道49号で移動する事が可能であるため、東日本の交通の十字路となっています。

当部内で特徴的なのは、猪苗代湖を取水口として国有林内の地中を北から南へと疏水（そすい）が走っていることです。この疏水は安（あ）積（さか）疏水とよばれています。

郡山市は、水利が悪い地であったことから、明治時代に職を失った士族を入植させ猪苗代湖から疏水を開削したそうで、士族の中には久留米や岡山、土佐、鳥取などの各藩から実に延べ８５万人の人々が携わり、１２７㎞の水路工事を僅か3年で完成させたそうです。現在でも農業用水・工業用水・水力発電・飲用水に用いられ人々の生活の糧となっています。

安積疏水

また当部内においては、平成27年2月に郡山市・郡山市森林組合・竹ノ内森林再生事業組合及び当署の4者で、森林整備推進協定書を締結し共同施業団地を設定しました。今後、協定者が連携して民有林と国有林の効率的かつ安定的な林業経営の基盤づくりに必要な路網の整備と森林の整備を推進していくこととしています。

協定地域は、郡山市熱海町安子島地内の森林面積１１６６㌶で民有林１５８㌶・国有林１００８㌶となっており、国有林の中に民有林が所在する地域となっています。

事業は、平成28年度から民有林・国有林とも林業専用道等の作設に着手する予定であり林業経営の基盤づくりが始まります。

今後もより一層協定者と連携を深め民・国一体となり、この協定の目的達成に向けた取り組みが重要になってきます。

また、郡山市の担当者の中には、林野からの出向者もおり、お互い協力し民国の連携がよりよいものになればと考えています。

発行所　関東森林管理局
編集　総務課
■TEL（027）210-1158
■FAX（027）230-1393